

～ ご案内 ～

令和6年度は、気になる子どもへの関わり方や保護者支援をテーマにしたステップアップ研修も別途開催します（研修名：障がい児保育専門研修Ⅱ／配信開始は11月中旬）。本研修Ⅰと併せての受講をおすすめします。

障がい児保育専門研修Ⅰ 開催要綱

趣旨 障がい児保育における基礎的な知識を理解・再確認し、子どもの発達の中で保育者の担う役割について改めて考えます。また障がい児とその保護者への支援方法について理解を深めることを目的に開催します。

1. インクルーシブ保育の実践について学びます

保育現場で実践されているインクルーシブ保育の実践から、保育に役立つ情報を得ることができます。子ども個人とクラス集団での関係づくりが、他園でどのように取り組まれているか知ることができる、貴重な機会です。

2. 発達障がいのある子どもとの関わり方で大事なことを確認できます

子どもとの関わりにおいて大切なのは、まず「特性を理解」すること。理解してから「支援」がスタートします。
発達障がいのある子どもの特性を理解し、「特性と行動を踏まえた成功体験に結び付ける」考え方を習得できます。

3. 保護者への支援方法が具体的に学べます

保育者の専門性を生かした保護者支援について、相談支援の基本が学べます。
いつどのようにどんなふうに伝えるのがよいか、保護者と保育者では子どもの姿にどのような違いがあるのか等、保護者支援に有益な多様な視点を学べます。

開催形式

オンライン（オンデマンド配信）

対象

保育所・認定こども園・母子生活支援施設・児童養護施設・児童家庭支援センター等、障がい児保育を担当する保育士・施設職員

配信期間

令和6年5月10日（金）～6月28日（金）

申込期間

令和6年3月 8日（金）～4月 8日（月）

研修費用

会員・準会員 5,000円 非会員 12,000円

申込期間

令和6年4月15日（月）までにご連絡します。

プログラム

時間	研修科目	研修内容
約 90 分	講義 1 「障がい児保育実践における保育者の役割」	障がいがある子どももいない子どもも共に育つ「インクルーシブ保育」の実践をとおして、保育者が配慮すべき事由とその対応を学びます。 子ども個人や集団保育の場面において、「全ての子ども」の個別性を尊重した保育が実践できる方法を考えます。
約 90 分	講義 2 「発達に課題を抱える子どもの理解と関わり」	発達障がいにおいて、基本的な特性を改めて確認し、行動について考えます。 保育者として、幼児期の保育に求められる対応や配慮、環境構成等からみた支援のあり方について学びます。
約 90 分	講義 3 「保護者への支援方法 ～事例検討を通して学ぶ～」	保育現場における保護者支援に役立つ相談支援について、基本を理解します。 特に障がいのある子どもをもつ保護者への支援について、保育者の専門性を生かした対応を学びます。

※【お知らせ】本研修は、令和5年度に実施した「障がい児保育専門研修」と同内容です。